

ば小指を曲げ僅かに上下させながら移動させる。同時に一方の手の手甲を腰の後につける。(例) 齡—多い(顎の下で掌を下に向けて五指を彎曲した右手、その僅か下に掌を上向けて五指を彎曲した左手を上下に向い合わせ、右手の方へ上へあげる。量のふくれ上ったこと)

浪人 「失業者」と同じ。

勞力 働く—腕前。

露店 家—なし—店。

口ハ 金銭—なし—かまわない。

論文 研究—文章。

ワ

張せつなこと 掌を右側にした右手を拳にして右頬を一二度打つ。

賄賂 右手で「金銭」を表わしたのを左手

の手首の下から袖に入れる身振(「袖の下」のこと)

和解 改めて—仲よし。

若い 五指の指頭を左にさし、内側にした右手の掌で額を左から右へ撫でる。額にしわがないこと。

我儘 「やんちゃ」と同じ手まね。

解らない (例)「知らない」と同じ手まね。

(例)「理解に苦しむ」

解る 掌を内側にした五指の指頭を左にさした右手を胸にあて撫で降す。胸(心)におさまったこと。

取 「意味」と同じ手まね。

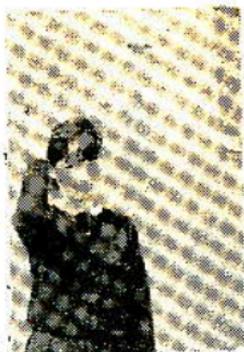
分ける 掌を下に向け、五指を屈めた両手を前で左右につけ合わせてから、物を引き分けるような身振で、左右に離す。

技 「腕前」と同じ手まね。

災 突然—不幸—受ける。

僅か (イ)「少し」と同じ手まね。(ロ)「つまらない」と同じ手まね。「僅かですが……」の場合。

忘れる 拳にした右手を頭の右側につけて



から、ぱっと五指を開いて上へ上げて行く。頭の中にあつたものが、放散して行くこと。

和製 日本—造る—物(いろいろ)

綿 五指を屈めて掌を左右に向い合わせた両手でふわりとした綿の塊を持った姿態で、それを少し左右に引き伸ばす身振。

詫びる 「謝やまる」と同じ手まね。

和服 「着物」と同じ手まね。

笑う 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手。その五指を屈めて、頬の左側につけ

口を被うようにして口を開いて笑う表情。

割算 左手の掌を内側にし指頭右に差した人指差(「一」の形)を上下に挟むように、右手の掌を前向け指頭を前方にさした人差指と親指をコの字形にして囲む。即ち前から見て、この記号の形をつくり—算術。

割引 金銭—引く(省く)

悪い 指頭を上にした右手の人差指で鼻頭の上を右から左へささりとかずめる。善い(鼻高)の鼻を切ったこと。

悪るかった (イ)「謝まる」と同じ手まね。

(ロ)「御免御免」と同じ手まね。

悪賢い 「猜るい」と同じ手まね。

悪口 悪い—云う。

悪るさ 「やんちゃ」と同じ手まね。

悪者 (イ)悪い—人(男性或は女性)。(ロ)意

地悪(不正直)—人。